

授業科目名	子どもの保健	担当教員名	米澤 慶子
必修/選択	必修	開講学年・学期	1年 前期 (年間開講数 2講座)
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	2単位 (30時間)
施行規則に定める科目区分等	保育の対象の理解に関する科目	授業方法/担当形態	講義 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 看護教員、看護師として長年にわたる実務経験を活かして、実例を多く取り上げて授業を行っている。
授業の概要及び全体目標	この授業では、子どもの身体的ならびに精神的発達を理解し、安心安全な保育環境を保つための予防方法や、子どもがかかりやすい疾患について理解します。また、組織での取り組みや連携および母子保健対策について学びます。		
到達目標	子どもの健康増進のための保健活動および子どもの発育・発達と健康について理解します。また、子どもの疾病とその予防および対処方法について理解し、安全な保育環境を維持するための衛生管理、安全管理の重要性について理解します。 (1)子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 (2)子どもの身体的な発育・発達と保健について理解する。 (3)子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する。 (4)子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。		
テキスト	「子どもの保健～健康と安全」大澤真木子(へるす出版,2018)		
参考書・参考資料等	奈良間 美保ほか(2015)『系統看護学講座 小児看護学[1]小児看護学概論 小児臨床看護総論』第13版 医学書院		
成績評価の方法	授業態度等の平常点10点、試験90点の総合評価		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	子どもの健康と保健の意義について理解する	(1)	
第2回	子どもの発育・発達について理解する	(2)	
第3回	乳児期・幼児期の身体発育について理解する	(2)	
第4回	呼吸機能および循環機能、免疫機能の生理機能の発達について理解する	(2)	
第5回	消化機能および尿排泄機能、水分代謝、体温調節の発達について理解する	(2)	
第6回	内分泌機能および睡眠と覚醒リズム、感覚機能の発達について理解する	(2)	
第7回	神経機能および精神機能、情緒・行動の発達について理解する	(2)	
第8回	小児の主な病気について、その特徴を理解する	(3)	
第9回	感染症、アレルギー性疾患、免疫疾患、消化器疾患、呼吸器疾患などについて理解する	(3)	
第10回	循環器疾患、血液疾患、神経系疾患、腎及び泌尿生殖器疾患について理解する	(3)	
第11回	皮膚疾患、感覚器の疾患、整形外科の疾患、内分泌・代謝疾患などについて理解する	(3)	
第12回	子どもの心の健康とその課題について理解する	(4)	
第13回	保育の環境整備について理解し、実践できる	(4)	
第14回	保育現場における衛生管理、事故防止と安全対策について理解し実践できる	(4)	
第15回	職員間の連携と組織的取り組み、母子保健対策について理解する	(4)	
定期試験	筆記試験		